

議題提案書

(1) 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	日本 NGO 連携無償資金協力（N 連について） 1）審査プロセス（今後の改善に向けて） 2）要項の改定 3）予算について
提案者の氏名	今西浩明
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	委員

(2) 議題提案の背景

昨年（令和 3 年）度においては、N 連の新規事業の案件選定プロセスにおいて事前の説明不足等により混乱を招いたとして NGO 側から問題提起がなされ、今年（令和 4 年）度の N 連事業をより効果的・効率的に実施する観点から議論を行ったことにより、状況が改善されることが期待されていた。

しかしながら、今年度についても、種々の状況の変化などがあったものの、結果的には採択の決定や報告に昨年と同等以上に時間がかかり、かつ、多くの NGO で取り下げや予算削減をせざるを得ない状況になっている。

先般 NGO 側で実施した N 連に関するアンケートからも、審査プロセスの改善に向けた多くの意見が出てきている。また、同アンケートは、現在の要項においても多くの NGO から改定の要望が上がっている。

(3) 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

1）審査プロセス（今後の改善に向けて）

上記のアンケートで指摘された事項について、具体的な事例を報告しつつ、外務省側、NGO 側とも、昨年同様に審査のプロセスに双方ともに時間と労力などが大きな負担になっている。結果的に採択、契約がかなり遅れてしまっており、特に NGO 側では計画変更及び事業予算や事業期間の変更を強いられる事態が発生するなど、事業実施に当たって深刻な影響が生じていることの共通認識を持ちたい。

また、外務省側から N 連審査について現状を報告いただくとともに、どうしてこのような事態が生じることになったかを、NGO 側を含めて振り返り、来年度の実施において事態を改善するために、どのようなことが必要かを議論したい。できれば、外務省側の現時点での来年度の進め方についての計画（考え）を共有いただき、それを踏まえて審査プロセスの改善に向けて、双方協力し合って取り組んでいくという共通認識を持ちたい。

※N 連審査について具体的に回答をいただきたい点は以下の通りである。

①今年度の新規申請案件について

- ・申請数及び団体数（複数案件を申請している団体もあると推察するので）
- ・採択（申請の正式受理）案件数、もし現時点で団体と調整数であるものがあればその案件数
- ・予算減額要請案件数
- ・新規申請案件合計予算額および減額要請における減額後の想定合計予算額

- ・団体別に要請する予算減額を決める団体別基準額の決め方
- ・不採択案件数
- ・7 月末に申請書提出締め切り後の具体的な審査プロセスの内容となぜ 3 か月近くの時間がかかっているのかの民連室としての原因分析

②今年度 N 連全体について

- ・継続案件の申請数及び団体数
- ・継続案件の申請予算額合計および減額要請または次年度への先送りによる減額後の想定合計予算額
- ・継続案件および新規案件を合わせた今年度の N 連採択案件数（期末見込み件数）と契約金額合計（年度当初と現時点での年度末の見込み額）
- ・現時点での今年度の採択（契約済み）案件数（月ごとの件数を含む）

2) 要項の改定

本件について、アンケート結果を資料として共有し、NGO 側からの要望等を説明する。NGO 側にとって特に優先する項目などを説明し、今後タスクフォースで議論を進めるうえでの共通認識を持ちたい。

3) 予算について

1. の審査プロセスの過程で、多くの団体が予算削減や既存事業の先送り、複数の申請案件がある団体は一部案件の取り下げや申請の先送りなどをせざるを得なくなっているという事態が生じている。この大きな要因の一つとして、N 連の予算不足があげられる。その現状を外務省側から報告いただくとともに、来年度に向けた民連室の考えや見通し、予算増に向けた対策などについてお聞かせいただき、率直な意見交換を行いたい。

(4) 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 民間援助連携室 松田室長、坂本班長

以上